

足利家、織田信長、徳川家康と、天下人が所持した名刀を手にする喜びは格別です。

美術刀剣

国宝写し

所蔵。東京国立博物館

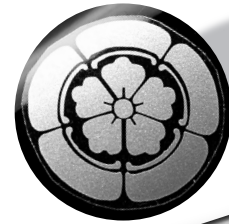
刀装師 二代 隅田光陽作

信長大般若長光

拵付き太刀

所有のための登録は不要です!
本作は鑑賞を目的とする模造刀で、刃がついておりません。すぐにお飾りいただくことができます。

織田木瓜の家紋が輝く、
信長らしい豪華な拵を
眺めました!



黄金に輝く鏝は彫りも細かく圧巻です! 一本樋入・大丁子乱の刀身。切先まで隙のない端麗な造形

信長らしい金色の華やかな拵、堂々たる太刀

■織田信長が駆け巡っていた激動の時代を偲ばせるような名刀を写しました。現在は国宝として東京国立博物館が所蔵している歴史的名刀。昭和14年に買い上げられた際、現在の価値でいうところの約一億二千万円という異例の金額が提示され、世間の話題をさらったといえます。その名刀を、日本屈指の刀装師である二代隅田光陽氏が見事に再現したのが、「信長大般若長光」です。

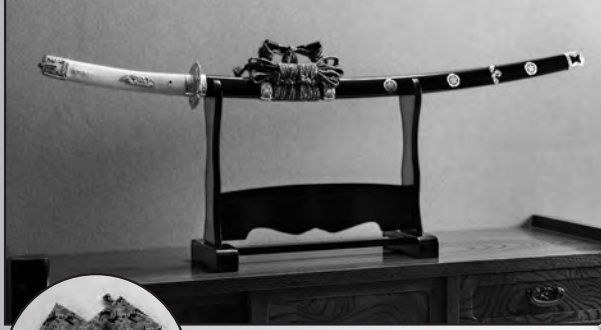
■「大般若長光」は、鎌倉時代の備前長船派の刀工・長光の代表作として知られる豪壮華麗な名刀。室町幕府十三代将軍・足利義輝に献上され、後に信長の手に渡ります。信長は姉川の戦いで奮戦した徳川家康にこれを授け、江戸時代には武蔵国忍藩の松平家が所持していました。

■戦国時代の天正年間(1573-1582)に刊行された刀剣の指南書「諸国鍛冶代付之事」によると、日本刀の代名詞ともいえる「正宗」の五十貫という値付けに対し、長光には六百貫という驚異的に高い価値が置かれていたとのこと。この値が玄奘三蔵の教義を記した「大般若経」の巻数六百巻と同じことから「大般若長光」と呼ばれるようになったのです。長光が歴史に残る名刀の証だと言えるでしょう。

■本作は総寸105cmもの堂々たる風格。鮮烈に輝く刀身は、猪首切先で腰反りが高く実には豪壮。華やかで力強い刃文など見どころが満載です。金色をふんだんにあしらった豪華な装飾は、まさに「傾奇者」の信長にふさわしい拵で、黒呂塗りの鞘には織田木瓜の家紋が鮮やかに浮かび上がります。隅田氏が渾身の想いを込めて振り上げた傑作。美術刀剣のため、所有の手続きは不要で安心してお求めいただけます。ぜひこの機会にご愛蔵ください。

ほかに名刀を多数ご用意。お気軽にお問い合わせください。弊社では美術刀剣のほかに骨董真剣を多数取り揃えております。例えば、備前長船物、肥後同田貫、葵紋入り真剣などもご案内できますので、お気軽にご用命ください。

格調高さを引き立てる 刀掛け台を無料進呈!!



刀袋付き ※刀袋の色・柄・房が異なる場合がございます。ご了承ください。



二代 隅田光陽 略歴

一九五七年岐阜県関市生まれ。日本刀五箇伝の「岐阜県関市で半世紀に渡り刀装師」筋で活躍。刀の研ぎ師だった初代よりその技を伝授とする。実践重視の居合刀から陣太刀の美術刀剣まで幅広い拵を手掛け、数々の名品を送り出している。

- 素材: [刀身]特殊合金 [鏝]特殊合金 [柄]本鯢皮地 [鞘]朴木 [目貫]特殊合金 [刀掛け台]朴木
- 寸法(約): [総寸]105cm、重さ1.13kg(抜き身重量760g) [刃渡り]74cm [柄]25cm
- 手入具付き ■日本製

頒布価格(税込)

『信長大般若長光』
月々18,734円×12回
(計224,808円)(実質年率13.69%)
一括 209,000円

芸術と文化の殿堂 100周年
東京書芸館
〒140-8536 東京都品川区南大井3-28-10

お申込み方法 ハガキ・FAX・ネットまたはお電話で、お申し込みください。

お届けは受注から約2~10週間後。発送手数料は一点につき2,970円(税込)。一括払はクレジットカードもしくは代金引換(代引手数料弊社負担)。分割払はクレジットカードのみで、分割金額につきましては各クレジットカード会社の規定に準じます。現品到着後8日以内なら瑕疵なき限り、送料自己負担でご返品可。当社基準により、ご希望のお支払い方法にそいかなる場合がございます。※個人情報取扱に関する内容は当社ウェブサイトにてご確認ください。

TEL 140-8536 東京書芸館
FAX (24時間受付) 03-3762-7609
フリーダイヤル 0120-807-577

切手 郵便はがき 〒140-8536 東京書芸館

①信長大般若長光
②〒住所
③氏名(フリガナ)
④生年月日
⑤電話番号
⑥支払方法(一括/月々)
⑦〇〇係

歴史的名刀の輝きと豪華な拵はこちら 東京書芸館 検索